

「経理情報の高度化」プロジェクトで
経営基盤の強化を進めています。

トヨタ自動車株式会社(以下、トヨタ自動車と略す)は、同社独自の「ジャスト・イン・タイム」の生産方式のもと、消費者の需要に合わせて、効率良く、魅力あるクルマづくりを続けてきました。そして、1999年10月には、国内メーカーとして初めて、国内自動車生産累計1億台を達成。日本を代表する自動車メーカーとして躍進を続けています。同社では、さらに、クルマづくりを支える管理部門においても生産性の向上を図るため、「経理情報の高度化」プロジェクトをスタート。1997年には、支出/入金処理や、債権債務の相殺などの経理・財務プロセスの合理化およびスピード化を図り、よりタイムリーな経営情報を導き出すため、経理システムの再構築を検討しはじめました。

ERPパッケージ導入の決め手は
「スピードと低コスト」。

自動車業界における競争が厳しさを増すなか、同社の経理システム再構築の要件として重要だったのは、スピードと低コスト。そこで、自社ですべて開発するよりもERPパッケージを導入することが決定されました。同時に、ニューヨーク、ロンドンの両証券取引所への上場を控えていたこともあり、世界一厳しいといわれる米国の会計基準(SEC基準)にのっとったソフトウェア・パッケージを利用することで、上場への基準を満たすシステムを短期間で開発できることも、ERPパッケージ導入の一因でした。

月150万件の膨大なトランザクション。
S/390ベースのPeopleSoftを採用。

いくつかのERPパッケージをベンチマーク・テストした結果、トヨタ自動車を選んだのが米国PeopleSoft社のパッケージです。当時、システム開発部 高度化プロジェクト推進室 経理高度化グループでプロジェクトに当たっていた日下部和也氏(現コーポレートIT部 第2プロジェクト室 経理グループ 担当員)と同じく坂根孝一氏(現コーポレートIT部 第1プロジェクト室 SMSグループ)は、その理由を次のように述べています。「当社の経理システムの場合、月間に150万トランザクションと非常に大量のデータを処理する必要があります。それを可能にする構成を考えると、当社で長年活用し実績のあるIBMのメインフレームとDB2®を使って処理ができるアプリケーションであるということが第一条件。そういう意味でホスト環境で稼働できる力を持っていたのがPeopleSoftでした(日下部氏)」「集中処理に堪えるバッチ・パフォーマンスの良さに加え、PeopleToolsという開発ツールが充実していたのも良かった。手形処理など日本の商習慣に合わせたカスタマイズやGUIの組み上げも容易に行えました(坂根氏)」

30年以上にわたる信頼がベース。
すべての売り買い情報がS/390に。

トヨタ自動車ではおよそ30年前よりIBMメインフレームを事務系の基幹システムとして使用してきた実績があり、今回のERP導入に関しても、信頼性の面からS/390を活用することを選んだといえます。「すべてのお金の流れを扱うわけですから、信頼性が重要です。万一トラブルが起こったときに社内だけではなく、取引先に迷惑がかかってしまうわけですから、それも、なるべくコストをかけないでその基盤をつくらなければならない」となると既存のS/390を活用するのが一番でした(坂根氏)

PeopleSoft導入に当たっては、1998年10月に実開発が開始され、翌年4月には稼働を開始しました。

S/390

ERP

— お客様事例 —

トヨタ自動車株式会社 様

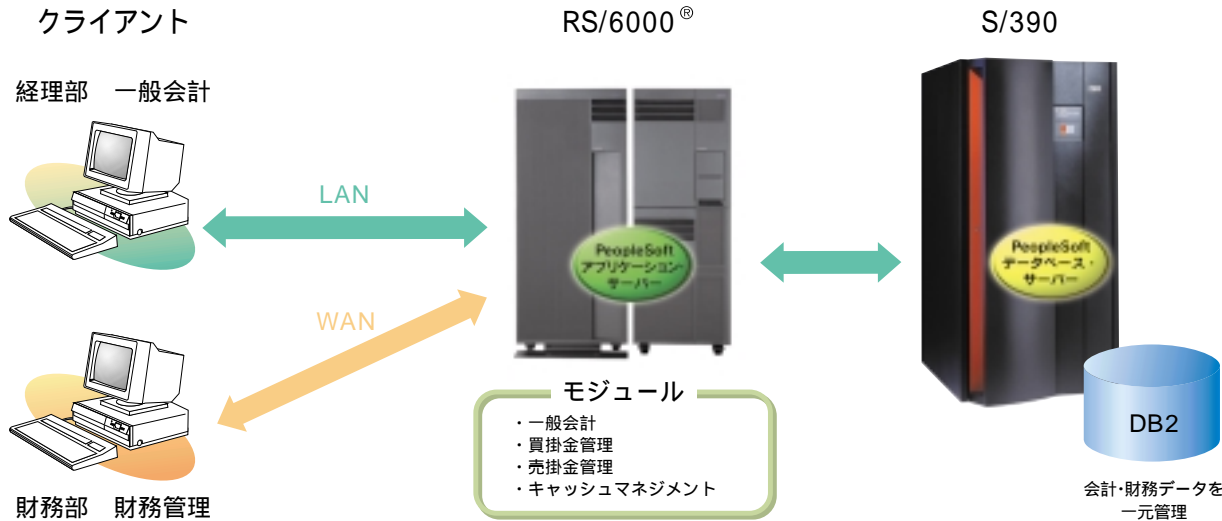
基本は「お客様第一」の姿勢。
PeopleSoft導入で
一層の効率化とコスト削減を実践。

「経理情報の高度化」プロジェクト
ERPパッケージ導入の決め手は
「スピードと低コスト」

S/390®とPeopleSoftで月150万件の
膨大なトランザクションを処理
すべての売り買い情報がS/390に

迅速なIBMスタッフのサポート
今後もS/390に期待

S/390とPeopleSoftがトヨタ自動車の経理業務を効率化



長年の経験に裏打ちされた
迅速なIBMスタッフのサポート。

PeopleSoftを利用した同社の新経理システムは、開発・保守の効率化を考え、データベース、アプリケーション、クライアントの3階層構造になっています。またエンド・ユーザーは、財務部が40人、経理部が80人ほどで、ピーク時には150名がシステムを利用しています。開発のプロセスでは、データベース接続に関するIBM側のサポートも鍵となりました。「問題発生時の迅速な原因の特定、修正パッケージの事前検証、パフォーマンス改善などの面で開発部門も含めたIBMの総合的なサポート力には改めて感心しました(坂根氏)」

適用業務
会計・財務部門の生産性を向上させるERPシステム

ソフトウェア
OS/390、DB2、PeopleSoft

ハードウェア
S/390並列エンタープライズ・サーバー(9672-R85)

さらに競争力を高めるために
今後もS/390に期待。

S/390とPeopleSoftを基盤に経理事務の効率化を進めるトヨタ自動車。「今後は、さらなる生産性向上と連結決算の早期化を目指し、四百数十社に及ぶグループ企業にも会計業務のプラットフォームとしてPeopleSoftの展開を進めていく予定です(日下部氏)」。また、同社では、経理システムの発展形として、部品表システムのグローバル化など、世界規模で情報インフラの整備を進めていく予定です。国際的な視野にたつ同社の管理部門において、システムの信頼性やスケーラビリティはますます重要となります。今後も「TOYOTA」ブランドをバックで支え、経営の効率化を推進するために、S/390の持つ優れた可用性、連続稼働性および拡張性がより一層期待されています。

最新のCMOSテクノロジー採用の並列サーバー。
e-businessをはじめとする先進アプリケーションに対応し、
信頼性と可用性が高く、スケーラビリティにも優れています。

IBM S/390関連製品の詳細情報については、
IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/large/> をご利用ください。
お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員、または
ダイヤルIBM ☎ 0120-04-1992へ。
受付時間：月～金 9:00～18:00(祝日、12/30～1/3を除く)
携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤルIBM 044-200-8620
この場合、通話料金はお客様のご負担となります。

IBM、DB2、RS/6000、S/390は、IBM Corporationの商標。
他の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12
06-00 Printed in Japan

このカタログに使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。仕様は事前の予告なしに変更することがあります。製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。



G 5 8 8 - 1 8 7 7 - 0 0

♻️ 古紙配合率100%の再生紙に、大豆油(SOY)インクで印刷しています。